

令和 2（2020）年 11 月市長定例記者会見の概要と質疑応答

令和 2（2020）年 11 月 4 日（水曜日）
午前 11 時～11 時 58 分
柏崎市役所大会議室

1 発表事項

(1) 年末年始は市内で飲食を！—柏崎独自の GO TO キャンペーン

（主管：商業観光課）

柏崎独自の GO TO キャンペーンを二つ行います。期間はどちらも 12 月 1 日から令和 3 年 1 月 31 日までです。

一つ目は、かしわざきスーパー「GO TO イート」です。5 千円分の飲食チケットを 3 千円で 1 人 2 セットまで販売します。県と国の Go To Eat キャンペーンと併せてお使いいただきたいと思います。新型コロナウイルス感染症対策を行っている店に登録していただいていますので、利用者も各自の体調確認や感染予防をしていただきたいと思います。

二つ目は、かしわざきスーパー「GO TO 忘新年会」です。10 人以上の団体で 1 人 5 千円以上のプランを利用した場合に、1 人当たり 2 千円を補助します。事前にかしわざきスーパー「GO TO 忘新年会」を利用することを店に連絡してください。会計時は、1 人当たり 2 千円を差し引いた金額をお支払いいただき、差し引き金額は店から市に請求していただくというキャンペーンです。

これらを利用して、柏崎の経済循環にお力添えをいただきたいと思います。

(2) 「米山プリンセス」新パッケージアイデアの最優秀賞が決定

（主管：農政課）

米山プリンセスの新パッケージアイデアを募集したところ、全国から 166 作品の応募がありました。大阪府のデザイナー瀬戸まりあさんのデザインを最優秀賞に決定しました。稲刈りタイプと天日干しタイプを考慮いただき、ディスプレイにも工夫していただきました。稲刈りタイプは、田んぼに生えているようなディスプレイで、天日干しタイプは稲架^{はさ}にかかっているようなディスプレイです。

また、優秀作品として、宮崎眞由美さん、谷脇美由紀さん、木村紗妃さんの 3 人を黒姫山賞に決定し、村山和香菜さんを八石山賞に決定しました。

昨年は非常に厳しい天候でしたので、米山プリンセスの収量は 2 トンにとどまりました。

今年も厳しい天候で心配しましたが、10月末現在で認証者は5人、認証量は5トンを超えましたので、安心しました。ふるさと納税の返礼品や学校給食にも使うことができると考えています。生産者の皆さんには敬意を表したいと思っています。新パッケージデザインに応募していただいた166作品の150人の皆さんにも、心から感謝いたします。

(3) 原子力災害時避難円滑化モデル実証事業の取り組みを開始

(主管：防災・原子力課)

市長就任直後、北海道の泊原子力発電所の冬季の原子力避難訓練に参加しました。柏崎刈羽原子力発電所でも夜間降雪時が一番厳しい避難条件だということを繰り返し国に伝え、柏崎の山間部の避難経路を走行した記録を国に報告しました。昨年の夏には当時の原田原子力防災担当大臣から柏崎にお越しいただき、山間部の避難経路を視察していただきました。そのような経過もあり、今年度から原子力災害時避難円滑化モデル実証事業に採択され、4億7千万円の事業費を付けていただきました。

具体的な事業の取り組みは、即時避難区域内のバス避難集合場所に屋外照明の設置、照明付き誘導案内板の設置、即時避難区域内のコミュニティセンターに蓄電池および可搬型LED照明の設置です。さらに、主要な避難経路や積雪量が特に多い区域の主要幹線道路に接続する市道部など計12カ所にLED照明付き監視カメラを設置し、その情報を柏崎市役所の災害対策本部に集めることができるようにする予定です。

また、この事業とは別ですが、国道252号線の南鯖石郵便局前の山根橋がクラックになっています。このクラック解消に向けた調査費を新潟県が計上したと伺いました。相当年月がかかると思いますが、まずは一步を踏み出しました。

(4) 市役所新庁舎が竣工

(主管：新庁舎整備室)

市役所新庁舎が10月17日に竣工しました。12月12日には落成式典と市民の皆さんへの内覧会を行います。新庁舎は現庁舎より1割ほど小さくなります。建設工事費は約68億円で、うち合併特例債が約10億円見込まれます。

主な特徴は、市民の皆さんの利用頻度の高い窓口を1階フロアに集約、災害に強く安全で、ユニバーサルデザインにも配慮した誰にでも使いやすい庁舎、番号発券機導入による利便性の向上、県内初のおくやみ専用窓口の設置などです。新庁舎が機能し始めるのは令和3年1月4日からです。

(5) 申請書類などへの押印省略を開始します

(主管：人事課)

令和3年1月1日から押印省略を開始します。国の法律や県の条例などで決められているものは省略できませんが、市の条例などで決めているものは、12月議会でそれぞれ条例改正を提案します。10月末時点で市単独で押印省略が可能な件数は、戸籍謄本・抄本の交付請求書など約1,700件です。現在精査しています。

(6) 日本初「柏崎市デジタル予算書」の運用をスタート

(主管：財政管理課)

日本初のデジタル予算書の運用をスタートします。デジタル予算書というネーミングを柏崎市で商標登録の申請をしました。主な機能は、検索や絞り込み機能などのデジタルならではの利便性があるものや、写真や地図情報の登録などのビジュアル的にわかりやすくするための機能などです。また、予算、決算、事務事業評価などの情報を一元化することで利便性が向上すると考えています。初めての試みなので、私共は第1版と捉えています。今後、皆さんから意見などをいただき、より一層使いやすい、わかりやすい予算書にしたいと考えています。なお、開発に関わっていただいた株式会社オプテージ、ウイングアーク1st株式会社からもホームページなどで情報提供をします。

2 質疑応答

◎かしわざきスーパー「GO TO イート」キャンペーンに関する質問

記者：かしわざきスーパー「GO TO イート」のチケットはどのような店が対象なのか。スーパーやタクシーなどには使えないのか。

産業振興部長：県と国の Go To Eat キャンペーンに登録している柏崎市のお店は 11 月 2 日現在で 146 店舗です。このお店に柏崎市の GO TO イートキャンペーンにも登録していただけるよう呼びかけていきます。チケットはスーパーでは使えませんが、対象のタクシーや運転代行には使えます。

記者：県と国の Go To Eat 加盟店の中から柏崎市の GO TO イート加盟店を募っていくということか。県と国の Go To Eat と柏崎市の GO TO イートの加盟店は同じになるのか。

市長：県と国の Go To Eat 加盟店から募ります。国が定めた新型コロナウイルス感染症対策の基準を満たしていることを前提としているためです。

産業振興部長：市のキャンペーンに参加していただけるかどうかは、お店の判断になりますので、県と国の Go To Eat 加盟店とかしわざきスーパー「GO TO イート」加盟店は同じにならないこともあります。

◎市役所新庁舎に関する質問

記者：市民の利便性向上に対する市長の思いを伺いたい。

市長：市民の皆さんを早く、わかりやすくご案内できるように、また、長時間市役所にいていただくことがないようにフロアの配置や案内の表示などをしました。長年気がかりだったおくやみ専用窓口は利便性向上への象徴的なもので、身内の方が亡くなられて気持ちも時間も余裕がない中で、ご苦労がないようにという思いで設置しました。より一層便利で優しい市役所でありたいと思っています。また、1 階フロアを午後 8 時まで開放していますので、

市民の皆さんが集まる賑わい空間としても期待しています。

◎デジタル予算書に関する質問

記者：このシステムの開発支援業者は他の自治体にも売り込んでいくと考えられるが、今後の見通しを伺いたい。また、他の自治体がデジタル予算書という名称を使う場合、仮に柏崎市の商標登録が認められたら使用料などを求めるのか。

市長：私たちだけにとどめておくのでは意味がないと思っています。叩き台としていただいて結構なので、総務省に実際のモデルを渡し、横の展開を考えていただきたいと伝えました。

商標登録は、できれば利用料もいただきたいと思っていますが、ひんしゆくを買うようであればいただきません。監修として柏崎市と表示していただくよう開発支援業者に話してありますので、監修という名誉だけいただければいいと思っています。しかし、例えば営利目的の民間事業者が使いたいということになれば、また考えなければならぬと思っています。

記者：2月中旬から市の公式ホームページで公開するということだが、その時点で掲載される情報はどのようなものか。

財務部長：令和3年度当初予算の査定状況や過去2年分の決算書の情報を公開する予定です。

記者：議会もタブレットなどに切り替えているようだが、取材する側にとって、デジタル予算書になることで不都合が生じることはないか。取材する側もタブレットなどを持たなければならぬか。

市長：当面の間、紙の予算書も配布しますので問題ないと思います。

◎柏崎刈羽原子力発電所の審査に関する質問

記者：原子力規制委員会が柏崎刈羽原子力発電所7号機の保安規定変更の認可を発表したことに市長はコメント出されたが、あらためて今回の審査をどう感じたか伺いたい。また、次

のステップである地元同意にどのように臨まれるのか基本的な考えを伺いたい。

市長：2013年に東京電力が申請をして、約7年の年月がかかりました。この間に新しい審査基準も出され、より一層厳しい条件が求められました。今まで以上に厳しい安全、大きな安心を得られることを原子力規制庁が求め、それに対応した東京電力は誠実に対応してきたと評価しています。しかし、国民の願いは科学的、技術的な安全の領域だけでなく、安心の領域にまで及んでいるということ、もう一度社員一人一人が認識していただき、今後の事業を進めていただきたいと思います。51年間原子力発電所と共に過ごしてきた自治体の長としては、安全、安心に今まで以上に特段の検証を行っていただきたいと思います。

合意形成は、県の3つの検証が着々と進んでいるように見えます。東京電力の今回の保安規定の認可を含め、大きな山場を超えつつあると思います。この年末から来年3月ぐらいまでに3つの検証の集約、総括などがなされるのではないかと注視しています。

◎市長就任からの4年間に関する質問

記者：4年間を振り返って、達成できたことや心残りだと感じていることがあれば伺いたい。

市長：新潟産業大学の公立大学法人化は専門家の知見を入れながら結論を出してきました。柏崎市役所の新庁舎も完成にこぎ着けました。また、経営が非常に厳しい状況にあった柏崎ショッピングモールの経営も危機的な状況は脱しつつあります。高柳のじよんのび村は悪戦苦闘していますが、必ず残すと約束しています。事業峻別では2億円を見直し、その内約7千万円は介護従事者の手当て、子どもたちの指導補助員や介助員の増員、地域エネルギービジョンの関係に使わせていただいています。市民の皆さんが困っている部分に対応させていただいたと思っています。一方で厳しい批判もいただいたことも承知しています。現在も、西山町のコミュニティセンターの問題、高柳町事務所の体制の問題など、困難な課題はたくさんありますが、一定の方向性や結論を出してきたことだけは事実だと考えています。物事が早く移る時代の中で、時代に遅れないように決断し、できる限りのことはしてきました。原子力発電所の問題は、厳格な安全確認を行った原子力発電所は基数も期間も限定的に再稼働を認めて利活用し、一方で確実に減らしていくと以前から申し上げています。そしてカーボンフリー3.0を目指して進みたいと考えています。

記者：4年間を振り返って、自身で採点するとしたら何点ぐらいだと思うか。

市長：市民の皆さんを含めていろいろな方の話を伺い、冷静に考えたとき、75点ぐらいは付けてもいいかなと思います。

◎今回の市長選挙に関する質問

記者：政党からの協力、推薦、公認などはないということでしょうか。

市長：ありません。

以上